

# 令和5年度 小・中学校教育課程研究協議会に係る各部会の改善の重点

部会名

中学校 数学科

## 改善の重点

- ① 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を明確にした単元及び授業を構想すること。
- ② 授業のねらいに則した評価規準及び評価方法を適切に設定すること。
- ③ 資質・能力の育成に向けて1人1台端末を効果的に活用すること。

## 1 設定理由

中学校学習指導要領（平成29年告示）解説数学編第4章「指導計画の作成と内容の取扱い」において、「数学科の指導に当たっては、(1)「知識及び技能」が習得されること、(2)「思考力、判断力、表現力等」を育成すること、(3)「学びに向かう力、人間性等」を涵養することが偏りなく実現されるよう、単元など内容や時間のまとまりを見通しながら、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行うことが重要である。」と示されている。また、(3)については「数学的活動を楽しみ、数学を学習することの意義や数学の必要性を実感すること」と示されている。

すなわち、数学的に考える資質・能力を明確にした単元及び授業構想の中で、単にでき上がった数学を知るだけでなく、生徒自ら問題を見いだしたり、その問題から導かれる結果を予想したりする機会を設けることを重視することも大切である。

指導と評価の改善については、単元など内容や時間のまとまりを見通しながら、評価の場面や方法を工夫して、生徒の学習過程や成果を評価すること、教師の指導改善につなげること等が必要である。また、資質・能力の育成に向けた1人1台端末の効果的な活用については、数学科の特質を踏まえ、より一層計画的に取り入れることが必要である。

これらのことを踏まえ、「新大分スタンダード」に基づき、問題解決的な展開の授業を構想し実践する中で、主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善を進め、数学的に考える資質・能力を、生徒一人一人に育成していくことが大切である。

## 2 研究を進めるに当たって

(1) 実践に当たっては、以下の点に留意すること。

- ① 単元など内容や時間のまとまりの中で生徒の学習状況を適切に評価できるよう、評価場面や評価規準及び評価方法等を記載した指導と評価計画を作成すること。
- ② 学習指導案に「予想される『努力を要する状況』の生徒への手立て」を記載すること。
- ③ 資質・能力の育成に向けて1人1台端末を効果的に活用していくこと。

(2) 参考とすべき資料

- ① 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（国立教育政策研究所）
- ② 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業アイデア例（国立教育政策研究所）
- ③ 義務教育課HP「早わかり！単元計画の作成手順」
- ④ 義務教育課HP「算数・数学の学習で説明する力を伸ばす基本形」
- ⑤ 文科省HP「StuDX Style」ウェブサイト
- ⑥ 文科省HP「算数・数学科の指導におけるICTの活用について」